

**広川町在住外国人に関する
アンケート調査
報告書
(外国人と関わる地域住民調査編)**

令和3年2月

福岡県広川町

1. 調査概要

(1) 調査目的

広川町に在住する外国にルーツを持った住民に関連した地域の現状や課題等を把握し、広川町の実情に即した日本語教室を開設するため、外国人や事業所、地域住民を対象に調査を行う。

(2) 調査対象

調査の種類	調査内容	対象者数
①外国人調査	広川町在住・在勤する外国人	150人 (※町内在住外国人数 297人)
②事業所調査	広川町に所在し、かつ外国人を受け入れている事業所・農家等	37社
③外国人と関わる地域住民調査	外国人と関わる広川町に在住・在勤している地域住民(区長、民生委員、分館長、医療機関、金融機関、スーパー、行政機関、学校等)	190人 (※住民数 19,582人)

(3) 調査方法

アンケートを使用した質問調査(一部、地域日本語教育コーディネーターによる面接調査を実施)

※地域日本語教育コーディネーターとは

広川町では、文化庁「地域日本語教育スタートアッププログラム」を令和2年度から実施しており、その事業の中で「生活者としての外国人」を対象とした日本語教室の推進に取り組む人。

(4) 調査期間

令和2年10月1日～令和2年11月30日

(5) 回収結果

調査の種類	回収件数	回収率
①外国人調査	136件	90.7%
②事業所調査	27件	73.0%
③外国人と関わる地域住民調査	176件	92.6%

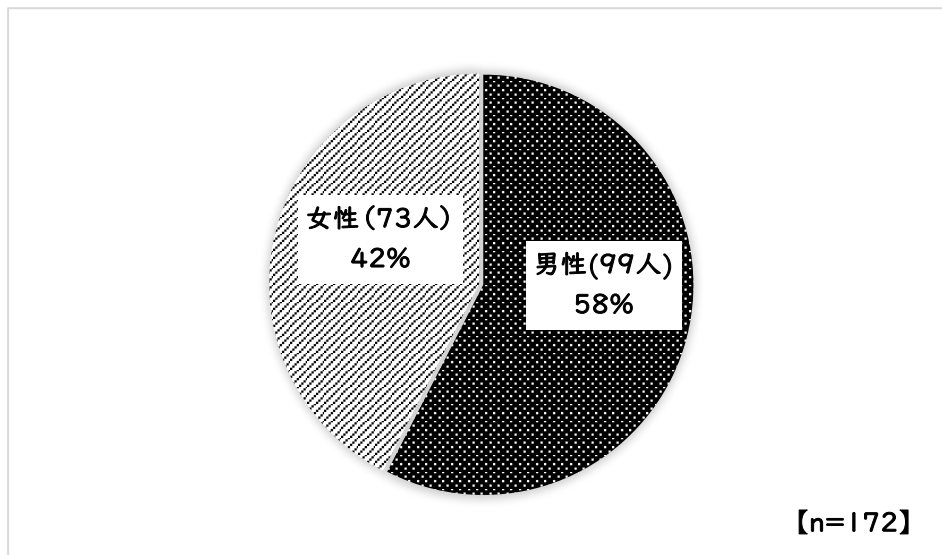
(6) 注意事項

- ・集計結果では、小数点第1位を四捨五入している。
- ・無回答については、除外して集計している。
- ・図表中の「n」とは、回答件数の総数のことで、100%が何件の回答に相当するかを示す構成の比率算出の基数である。

2. 外国人と関わる地域住民調査の集計結果

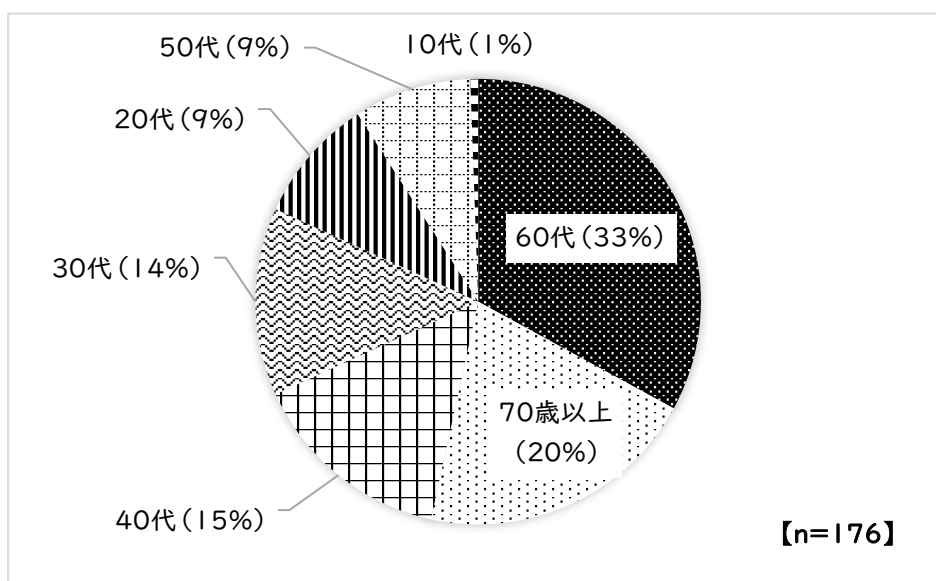
回答者の性別について

性別は、「男性」が58%、「女性」が42%となっています。



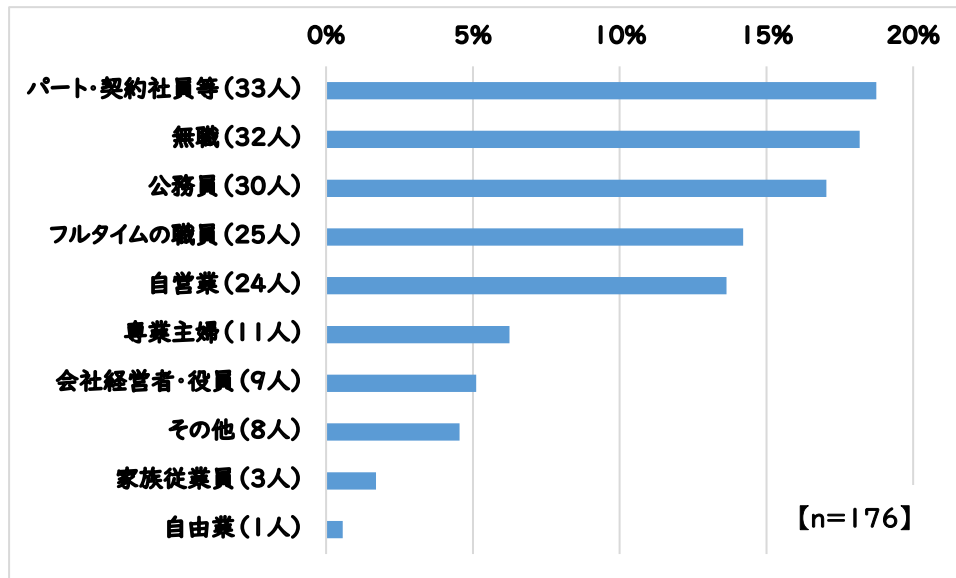
回答者の年齢について

年齢は、「60代」が33%と最も多く、次いで「70歳以上」が20%、「40代」が15%となっています。



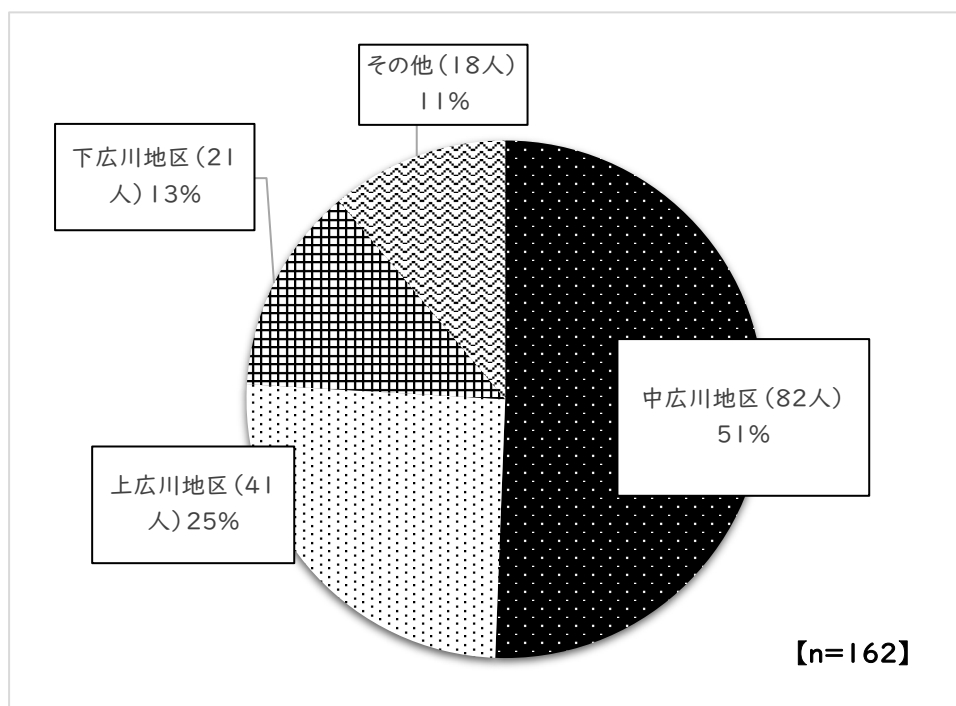
回答者の職業について

職業は、「パート・契約社員等」が19%と最も多く、次いで「無職」が18%、「公務員」が17%となっています。



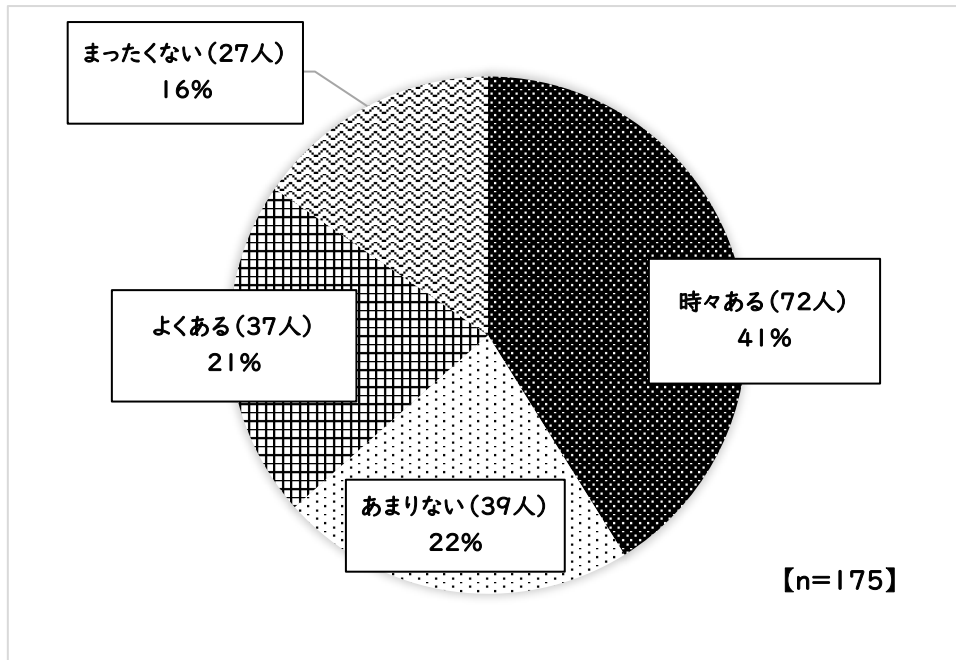
回答者の居住地域について

居住地域は、「中広川地区」が51%と最も多く、次いで「上広川地区」が25%、「下広川地区」が13%となっています。



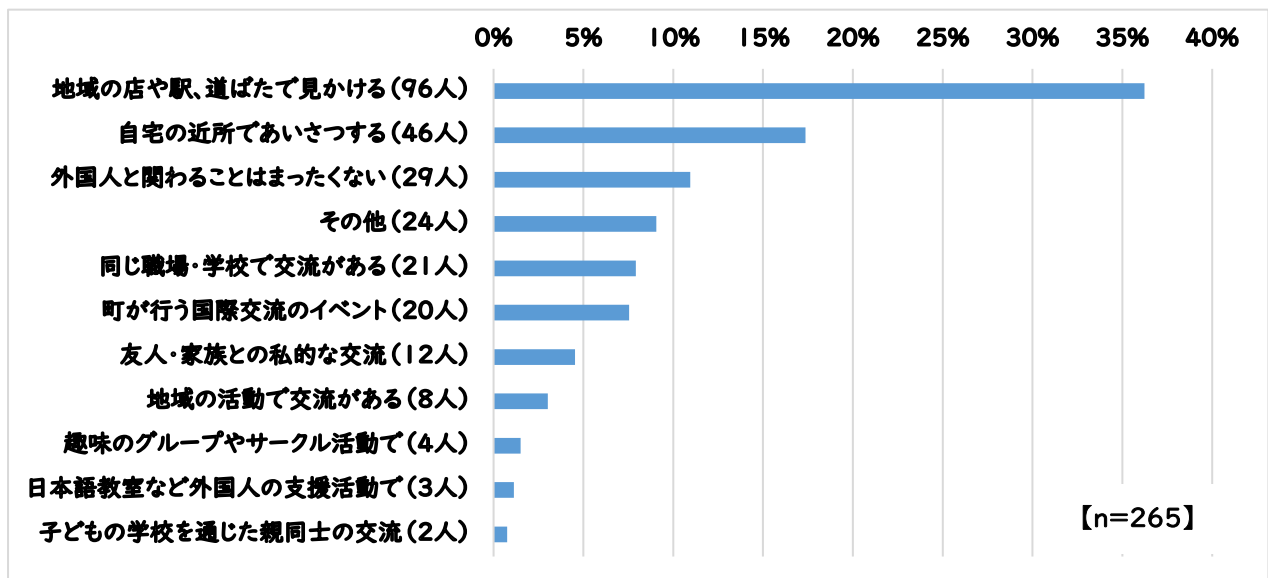
Q1 あなたが生活している地域で、外国人と顔を合わせることがありますか？（1つだけに○）

生活している地域で外国人と会う頻度については、「時々ある」が 72 人（41%）と最も多く、次いで「あまりない」が 39 人（22%）、「よくある」が 37 人（21%）となっています。



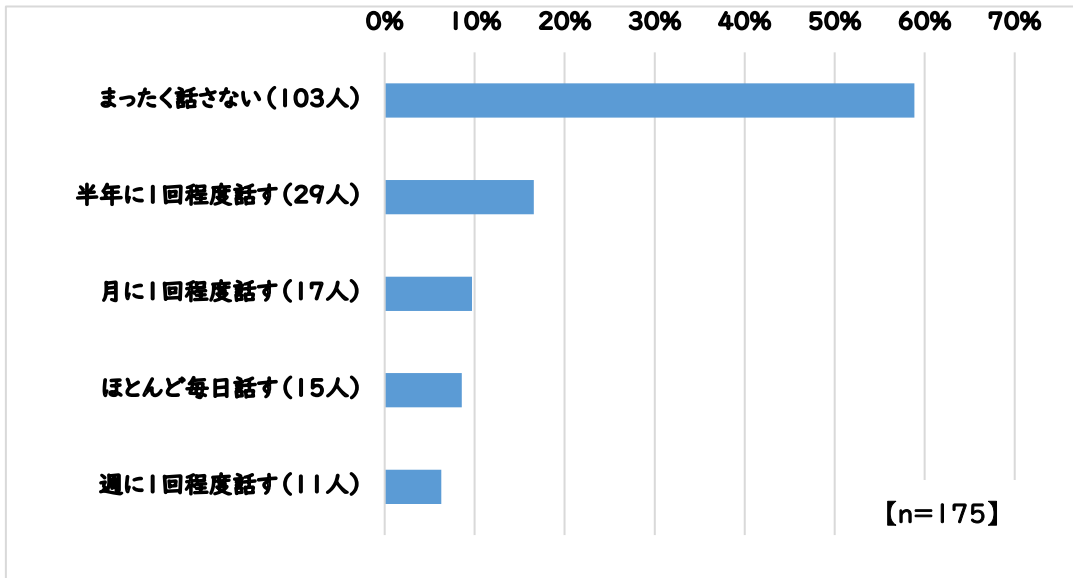
Q2 あなたは日ごろ、外国人とどのような関わり合いや交流がありますか？（すべてに○）

外国人との関わり合いについては、「地域の店や駅、道ばたで見かける」が 96 人（36%）と最も多く、次いで、「自宅の近所であいさつをする」が 46 人（17%）、「外国人と関わることはまったくない」が 29 人（11%）となっています。



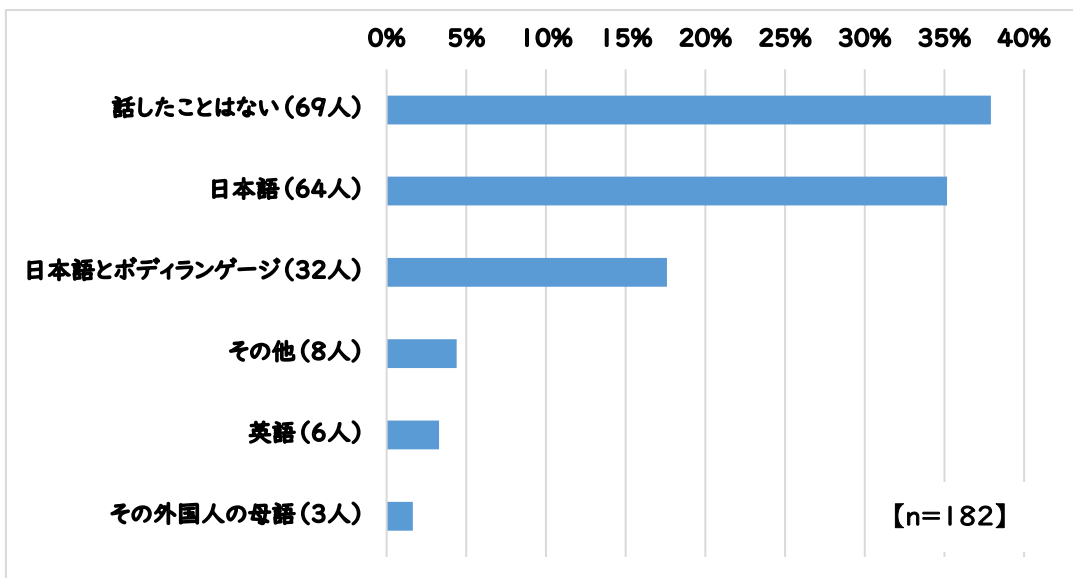
Q3 あなたが生活している地域で、外国人とどの程度話しますか？（1つだけに○）

生活している地域において外国人との会話の頻度については、「まったく話さない」が103人(59%)と最も多く、次いで「半年に1回程度話す」が29人(17%)、「月に1回程度話す」が17人(10%)となっています。



Q4 あなたは地域に暮らす外国人と、どのような言語で会話しますか？（1つだけに○）

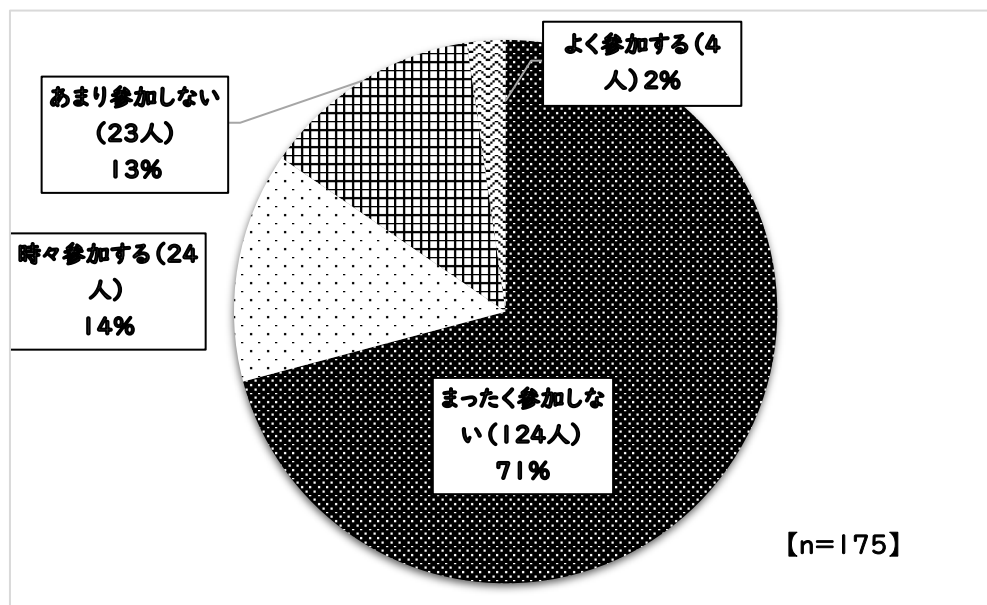
地域に暮らす外国人とどの言語で会話するかについては、「話したことはない」が69人(38%)と最も多く、次いで「日本語」が64人(35%)、「日本語とボディランゲージ」が32人(18%)となっています。



Q5 広川町の開催する外国人との交流事業やイベントに参加したことがありますか？

(1つだけに○)

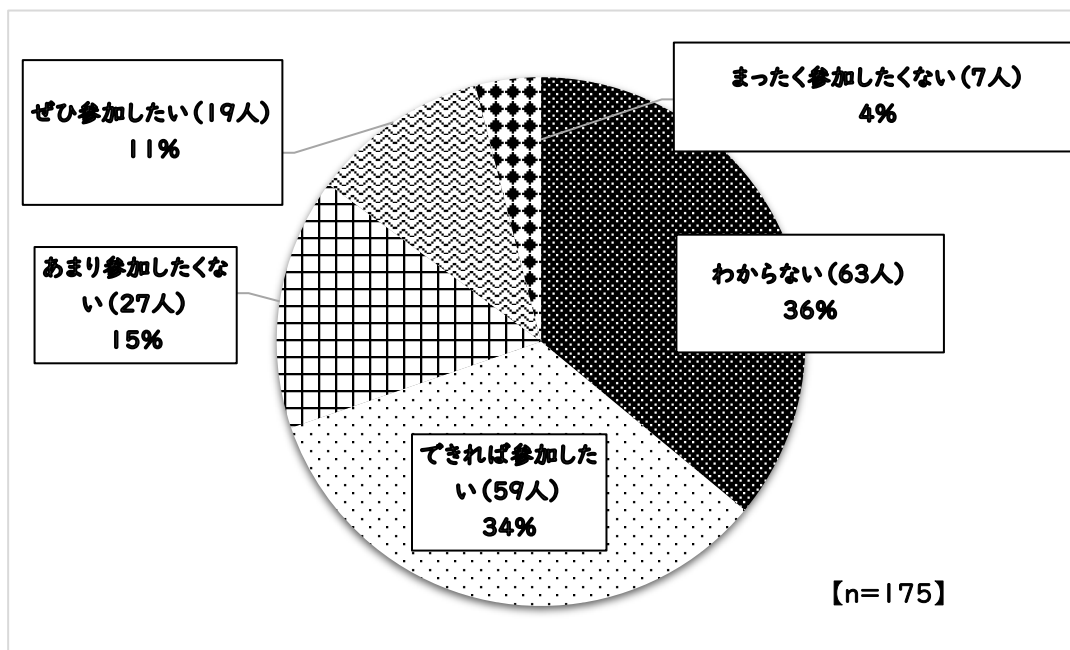
広川町が開催する外国人との交流イベントへの参加経験については、「まったく参加しない」は、124人(71%)と最も多く、次いで、「時々参加する」が24人(14%)、「あまり参加しない」が23人(13%)となっています。



Q6 今後、広川町の開催する外国人との交流事業やイベントに参加したいですか？

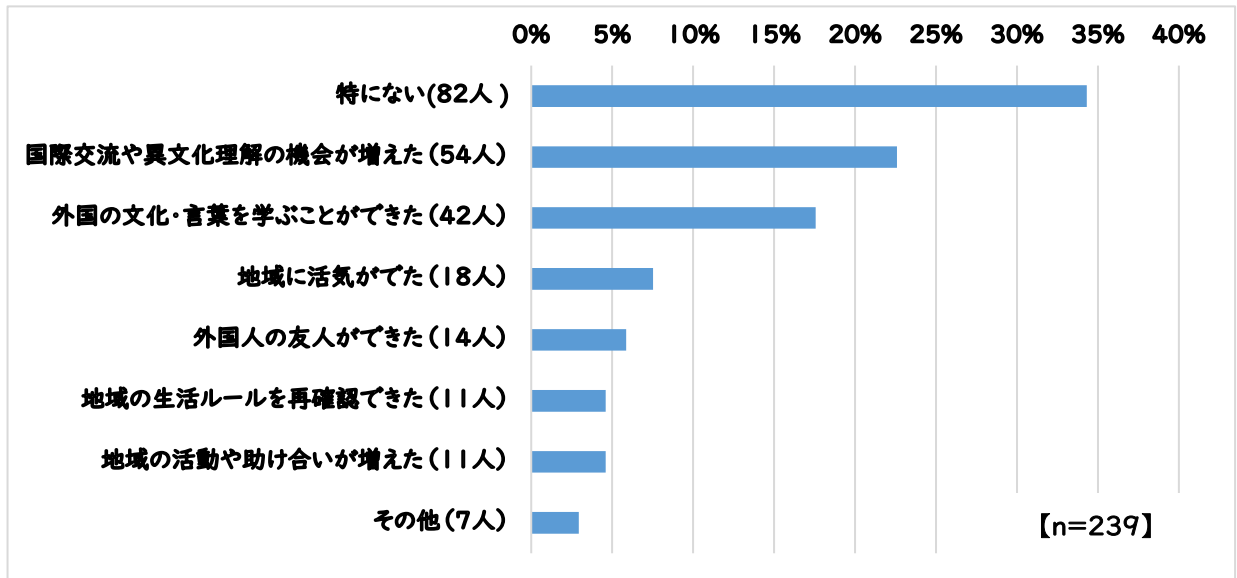
(1つだけに○)

「広川町が開催する外国人との交流事業やイベントに参加したいですか」という設問に対しては、「わからない」が63人(36%)と最も多く、次いで「できれば参加したい」が59人(34%)、「あまり参加したくない」が27人(15%)となっています。



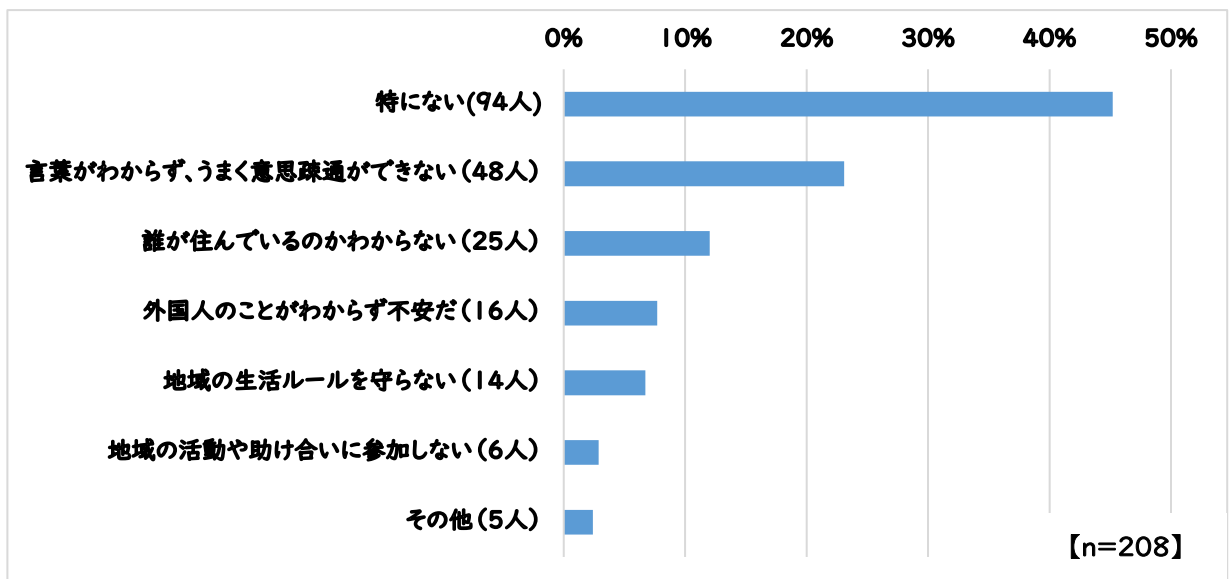
Q7 広川町に外国人が住んでいて良かったと思うことは何ですか？（3つまでに○）

広川町に外国人が住んで良かったと思うことについては、「特にない」が82人(34%)と最も多く、次いで「国際交流や異文化理解の機会が増えた」が54人(23%)、「外国の文化・言葉を学ぶことができた」が42人(18%)となっています。



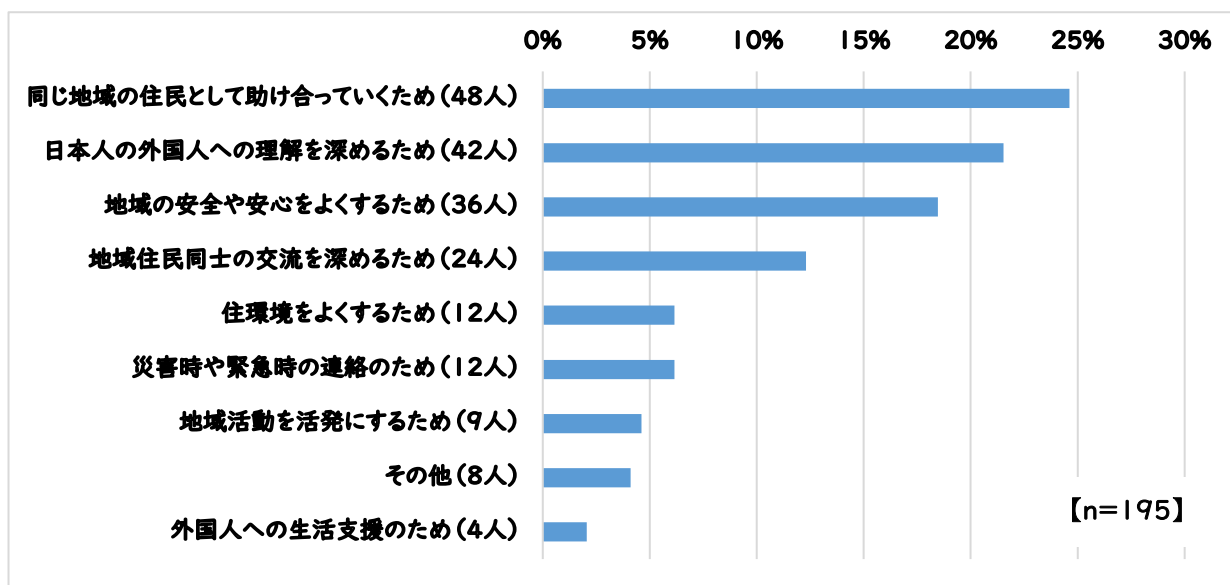
Q8 広川町に住む外国人との関係で困ったことはありますか？（3つまでに○）

「広川町に住む外国人との関係で困ったことはありますか」という設問に対しては、「特にない」が94人(45%)と最も多く、次いで「言葉がわからず、うまく意思疎通ができない」が48人(23%)、「誰が住んでいるのかわからない」が25人(12%)となっています。



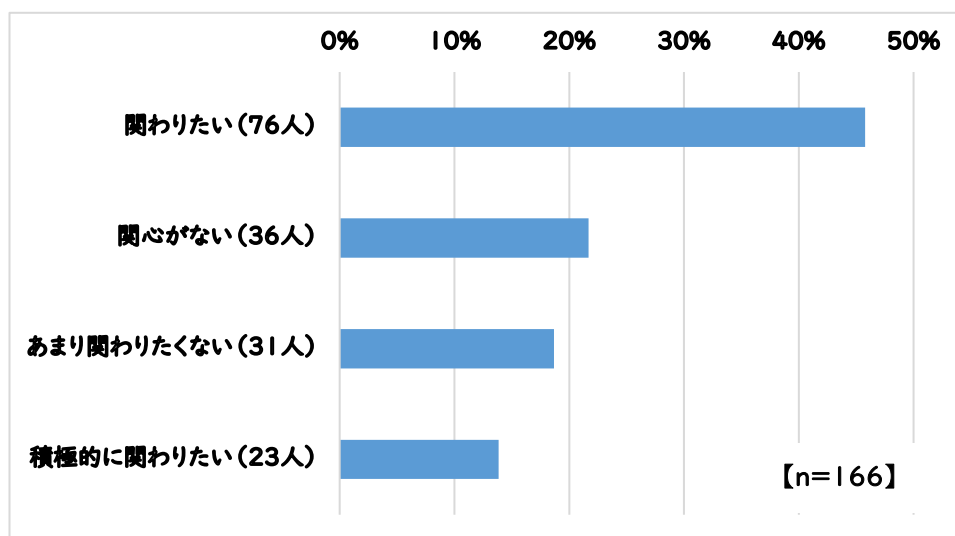
Q9 広川町の日本人住民が外国人住民と関わっていく必要があるとすれば、その理由は何だと思えますか。(1つだけに○)

「広川町の日本人住民が外国人住民と関わっていく必要があるとすれば、その理由は何だと思えますか」という設問に対しては、「同じ地域の住民として助け合っていくため」が48人(25%)と最も多く、次いで、「日本人の外国人への理解を深めるため」が42人(22%)、「地域の安全や安心をよくするため」が36人(18%)となっています。



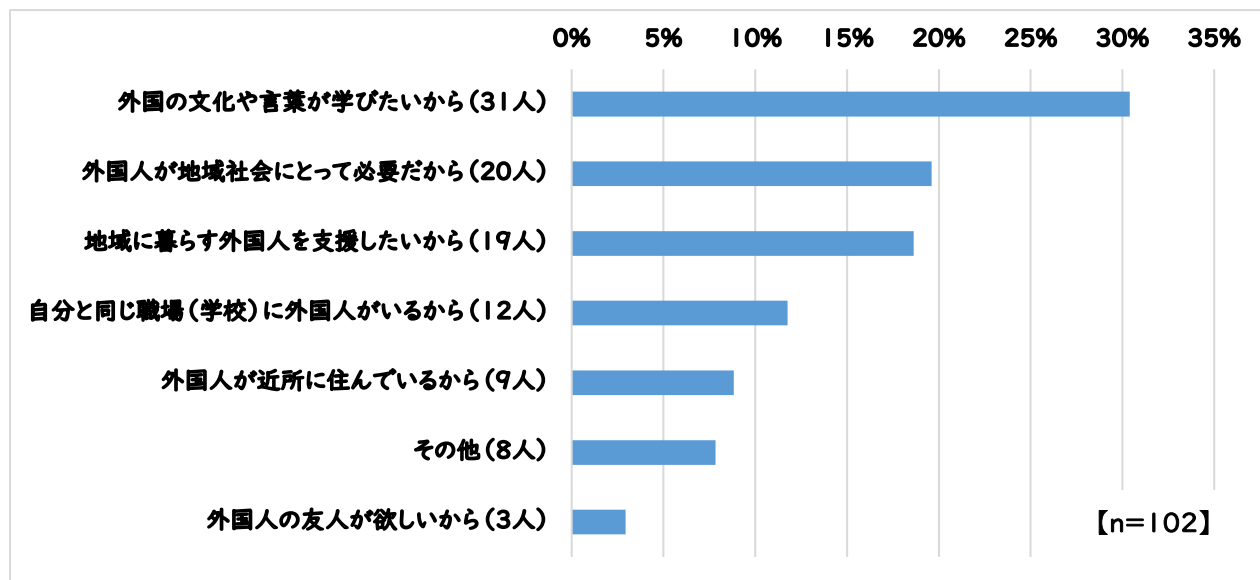
Q10 あなた自身は、今後、外国人住民とどのように関わりたいと思えますか？お考えを教えてください。(1つだけに○)

「今後、外国人住民とどのように関わりたいと思えますか」という設問に対しては、「関わりたい」が76人(46%)と最も多く、次いで「関心がない」が36人(22%)、「あまり関わりたくない」が31人(19%)となっています。



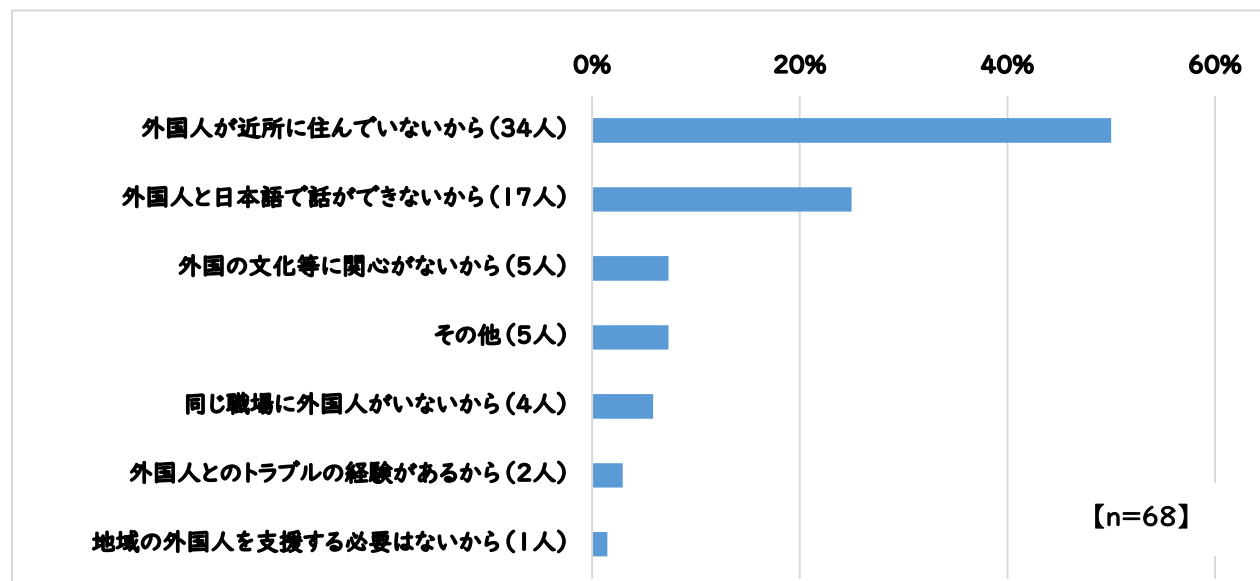
Q11. Q10で「積極的に関わりたい」「関わりたい」とお答えの方にお尋ねします。外国人住民と関わりたい理由として最も当てはまるものは何ですか？（1つだけに○）

「積極的に関わりたい」「関わりたい」と回答した者のうち、その理由について、「外国の文化や言語が学びたいから」が31人(30%)と最も多く、次いで「外国人が地域社会にとって必要だから」が20人(20%)、「地域に暮らす外国人を支援したいから」が19人(19%)となっています。



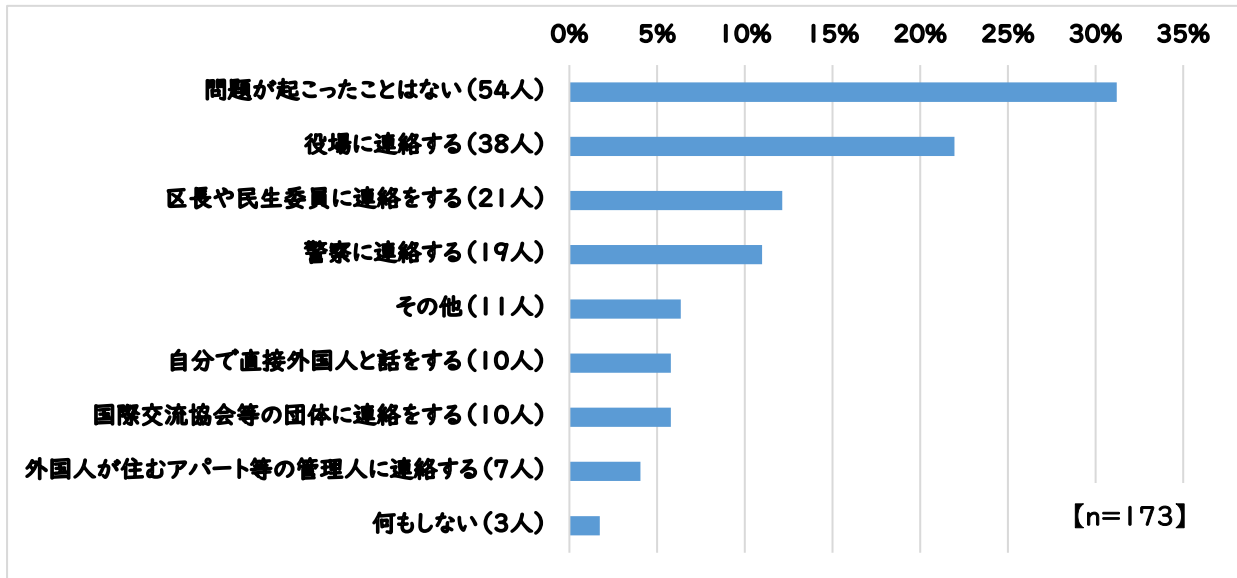
Q12. Q10で「あまり関わりたいくない」「関心がない」とお答えの方にお尋ねします。外国人住民と関わりたいくない理由として最も当てはまるものは何ですか？（1つだけに○）

「あまり関わりたいくない」「関心がない」と回答した者のうち、その理由について、「外国人が近所に住んでいないから」が34人(50%)と最も多く、次いで「外国人と日本語で話ができないから」が17人(25%)、「外国の文化等に関心がないから」が5人(7%)となっています。



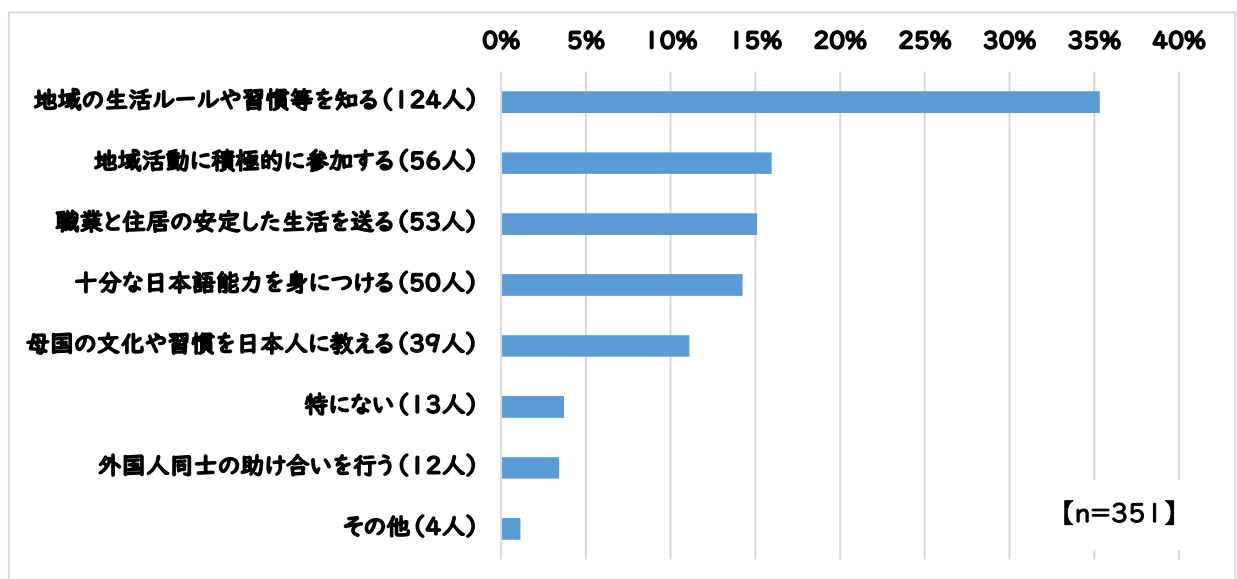
Q13 外国人住民との間で問題が起こった場合、どのように対応をしますか？（1つだけに○）

外国人住民との間で問題が行った場合、どのように対応するかについては、「問題が起こったことはない」が54人（31%）と最も多く、次いで「役場に連絡する」が38人（22%）、「区長や民生委員に連絡をする」が21人（12%）となっています。



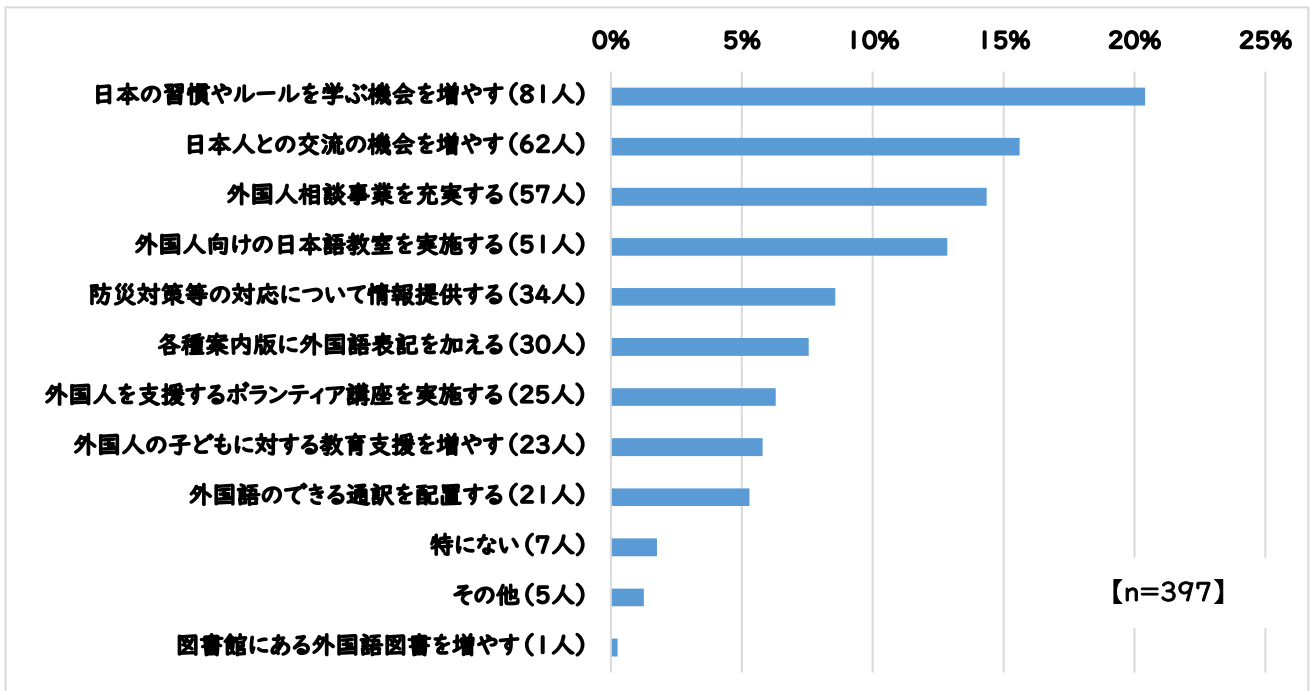
Q14 地域に暮らす外国人住民に望むことは何ですか？（3つまでに○）

地域に暮らす外国人住民に望むことについては、「地域の生活ルールや習慣等を知る」が124人（35%）と最も多く、次いで「地域活動に積極的に参加する」が56人（16%）、「職業と住居の安定した生活を送る」が53人（15%）となっています。



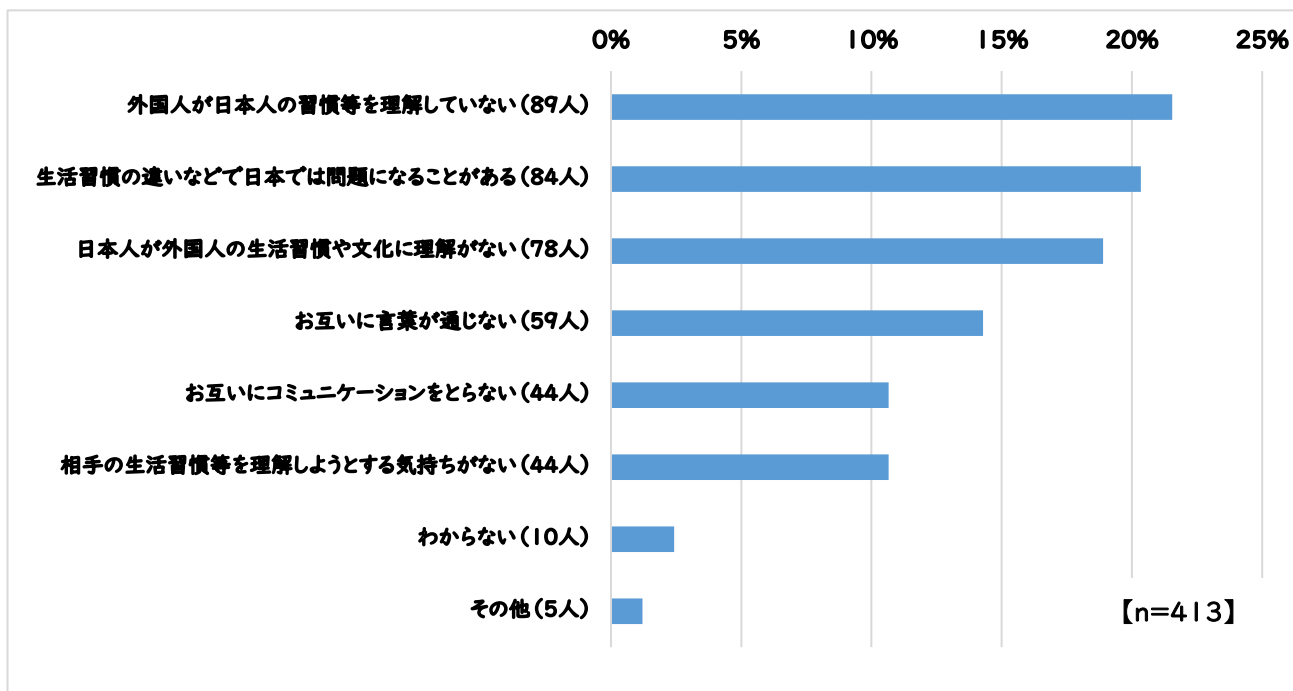
Q15 今後、広川町における外国人支援事業を推進するために、どのようなサービスや取り組みを充実すべきだと思いますか？（3つまでに○）

「広川町における外国人支援事業を推進するために、どのようなサービスや取り組みを充実すべきだと思いますか」という設問に対して、「日本の習慣やルールを学ぶ機会を増やす」が81人(20%)と最も多く、次いで「日本人との交流の機会を増やす」が62人(16%)、「外国人相談事業を充実する」が57人(14%)となっています。



Q16 日本人と外国人住民との間にトラブル（問題）が起きる一番の原因はどこにあると思いますか。（3 つまでに○）

「日本人と外国人住民との間に問題が起きる一番の原因はどこにあると思いますか」という設問に対しては、「外国人が日本人の習慣等を理解していない」が 89 人（22%）、「生活習慣の違いなどで日本では問題になることがある」が 84 人（20%）、「日本人が外国人の生活習慣や文化に理解がない」が 78 人（19%）となっています。



Q17. あなた自身が経験した外国人とのトラブル（問題）は、こういった内容ですか？もし、トラブルを経験したことがある場合はご記入ください。（自由記述）

- ・生活習慣の違いなどで、外国では問題にならないことも日本では問題になっています。
- ・自転車マナー
- ・集合住宅でゴミ出しのルールが守れず近所の迷惑になるということがありました。
- ・英語圏の外国人とは、なんとか会話やコミュニケーションを取れるがそれ以外の外国人とコミュニケーションが取れずに説明等が通じません。
- ・ゴミ出しの回収日以外の日にごみを出していることがあります。ペットボトル等をゴミ袋に入れて出しているため、回収車が持っていきません。その後、転居したが「ゴミを集積場所に入れないで」と近くの電柱の横に置いてありました。
- ・夫婦喧嘩、国保加入について
- ・労働（勤務）時間について、収入を増やすために残業時間の増加を要求されました。
- ・外国人のアパートの隣の家の池の鯉を勝手にとって食べてしまいました。研修中に理由はわかりませんが、行方不明になってしまいました。
- ・だまって人の物を取るという考え方なのか、他人の土地に入り柿を持って行きました。
- ・言葉の違いや職場でのトラブル
- ・生活習慣やゴミの出し方について、言葉が通じなくて理解してもらうことが困難でした。
- ・日本人が言ったことに対して、外国人は理解しているつもりですが、全く違うように理解している。

**Q18. 今後、あなた自身が外国人との関係や交流に期待することは、こういった内容
ですか？ もし、そうした思いや希望がある場合はご記入ください。（自由記述）**

- ・日本人も外国人もお互いに理解しあい、共に安心して生活できる社会になること。(6人)
- ・日本人と外国人とわけずに交流すること。(3人)
- ・お互いにあいさつ程度にも、日頃から交流が生まれればいい。(2人)
- ・日本人が外国語を学ぶ場を設けることにより、外国人を理解する道につながると思います。ぜひ語学の教室を開設してほしい。(2人)
- ・公民館にて文化交流、食事会を双方の料理で開催する。(2人)
- ・楽しく会話して酒飲んで、笑いあうこと。(2人)
- ・外国人が日本の文化や地域の慣習を学び、日本に溶け込む努力をしてほしい。同時に私たちも、外国人とコミュニケーションを取り、文化の違いの理解に努める関係が生まれることを期待します。(2人)
- ・外国人も、日本人も生活することは同じだと思います。これから先、広川町の人口は、少なくなっていくと思われます。町の経済にも、影響してくると思われます。日本に働きに来ている外国人の方は、本当に大変だと思います。私たちにできることは、日本人と同じ給料で支援していくことだと思います。その基礎作りを、どこよりも先に広川町の事業団体に応援してもらい、町も協力して、広川町が全国で一番住みやすいですよと外国の人に理解してもらうことが、町の人口増加につながっていくと考えます。(2人)
- ・子ども世代だけでなく、大人世代も外国人と日本人が交流できる場づくりや機会が増えること。
- ・子ども達が、日本人と外国人という壁を作らずに、日常で当たり前世界の人たちと交流すること。
- ・外国人が広川に居住してよかったと思えるような交流や支援。
- ・異文化を理解すること。
- ・まずは知りあうきっかけをつくること。なかなか外国人と知り合う機会がなく過ごしているので、私は自分の子ども達に色々な国のことを知り、いろいろなことを学べるといいなと思っています。日本の常識だけが常識じゃないことを知ってもらいたいです。
- ・転入する外国人の方や事業者の方に行政手続きで必要な内容説明の分かりやすい説明書があるのとスムーズになるかと思います。
- ・区に外国人がいないためわからない。
- ・外国人が入居するとき、アパート等の大家さんに外国人表記をしてほしい。(ゴミ出し日、分別日、分別方法)
- ・日本人が考えて行動をとるべき
- ・外国人も日本に住もうと思うのであれば、十分な日本語能力と生活等を身に付けてきてほしいと思います。
- ・仕事でしか関わる機会がない。一番不便だと思うのはやはり言葉が全く(ほとんど)通じ合えないとき。最低限の意思疎通ができるように、手続等で役場やそのほか機関へ行く際には、通訳の方や、最低限の日本語ができるようになってほしい。
- ・理解を深めることが必要、必要に応じて海外研修に町から行ってみたい。
- ・今はコロナで大変だが、外国人対象のツアーリスト(案内人)になりたい。
- ・日本人も外国人も来日している主たる目的を理解すること。
- ・日本を選んでくれたのだから、日本を嫌いになってほしくありません。せつかく社保(国保)に入っているなら、健康でいるために病院受診の仕方を教えてあげてほしい。
- ・国際交流が発展すれば、広川町の国際化につながり発展する機会になると思う。
- ・住んでいる地域の行事に参加できるように、事前にルールなど教えること。
- ・中国人と関わる機会が多いです。礼儀正しい方が多いですが、言葉が通じないため、誤解されやすいと思います。外国人が少しでも笑顔で会話できるように、何かお手伝いできると思います。

- ・国籍に関係なく、円満に生活を送るために、外国人への偏見をなくし、互いの価値観や文化の違いに触れる機会が増えるといいなと思います。
- ・色々理解するのは難しいと思います。(期待する)日本人は、よかれと思ってやっていることが外国人の方からは、めんどいと思われるところもあるかもしれないからです。日本人は、何でもすばらしい!!と言われることがわかっていないことも多いようです。地域のイベントなどで必ずお誘い(外国人の方々)近所の方々、で会話を楽しむのもうれいって言ってありましたので、声かけしたいと思います。
- ・日本に来て、働き、仕事をする、外国人の生活等のアフターフォローを国が充分にやる体制が整っていないと思うので、今後に期待したい。